

環境設備工学科

定員
20名

対象者
新規高卒者
離転職者
(高卒以上)

訓練期間
2年

仕事に直結した資格が取得できる！



就職率
100%
(過去3年間)

【目指す職種】

管工事業（配管工・施工管理・メンテナンス等）、電気工事業、消防設備業

【目指す資格等】

2級管工事施工管理技士(第1次検定)、液化石油ガス設備士、2級技能士(建築配管作業)、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、第三種または第二種冷凍機械責任者、甲種第1類消防設備士、2級ボイラー技士、乙種第4類危険物取扱者、第二種電気工事士、第一種電気工事士試験合格、技能士補

【修了後に取得を目指す資格等】

2級技能士
(職種：冷凍空調和機器施工、厨房設備施工、機械プラント製図等)

指導員から

担当指導員：山本指導員



世界で環境問題に取り組む今日、エネルギー消費を抑える建物は増加しています。省エネ・利便性・快適性・安全性を追求した住宅システムなど、設備業界は多様なニーズに対応した暮らしの実現にむけ発展を続けており、設備現場の最前線で活躍するスペシャリストの評価は高く、大いに必要とされています。環境設備工学科では、給排水・ガス・冷暖房設備に係る配管技術を軸に、電気設備や消防設備など、建物の「ライフライン」に関して、実務に役立つ知識や技能の習得、必要な資格取得の支援を行っています。例えば、「トイレ・洗面器」「マルチエアコン」や「エコキュート」などの実習訓練をとおして、施工上のノウハウをつぶさに習得していただけます。

在校生から（入校したきっかけは？）

- ・ 2年間に多くの資格とスキルが習得でき、再就職に役立てることが出来る。
- ・ 安心・安全の暮らしを支える仕事に関わりたいため、設備に関する知識や技術を習得し、就職に生かしたい。
- ・ 施設設備に係る業務に就きたいため、水道・ガス・空調・電気・消防の設備等、幅広い技術を身に付けたい。

主な就職先

【県内】 アール空調システムズ(株)、岡山技工(株)、(株)小野田工務所、尾前工業(株)、貝原水道(株)、琴浦電気(株)、(株)JFEメカフロント倉敷、(株)大興電業、(株)大同設備工業、(株)中央設備、(株)日建、三要電熱工業(株)、和光設備(株)

【県外】 浅海電気(株)、瀬戸電設工業(株)、ダイキン工業(株)、中島工業(株)、(株)中野工業所、ホシザキ阪神(株)、名水美人ファクトリー(株)

動画はこちら！



年間カリキュラム（2年間）

◇1年次 給排水設備を中心とした配管技術の基本を身につけます。

- 2級ボイラー技士対策●冷凍機械責任者対策●液化石油ガス設備士養成課程●電気設備の基礎



【配管施工実習】

屋内外の環境で、実践的な配管施工実習を通し、生きた技術を習得します。



【測量実習】

下水へ導く排水管。滞りなく流すために正確に測り、適切な勾配を作ります。



【トイレ・洗面器施工実習】

配管技能士は縁の下の力持ち的存在。床下での作業も慣れてきます。

◇2年次 就職活動と並行し、様々な設備の実践的技術を身に付けます。

- 第二種電気工事士対策●管工事施工管理士対策●マルチエアコン施工実習●エコキュート施工実習



【建築設備製図実習】

図面は最強のコミュニケーションツール。工程をイメージしながら描きます。



【第二種電気工事対策】

第二種電気工事士技能試験の合格に向け、受験前は集中的に練習します。



【技能検定課題製作実習】

1年次は建築配管作業の3級、2年次は2級の合格を目指し取り組みます。

【目標とする主な資格と訓練スケジュール】

資格名	1年次			2年次		
	第1過程	第2過程	第3過程	第1過程	第2過程	第3過程
危険物（乙種4類）	→					
2級ボイラー技士	→					
冷凍機械責任者		→				
液化石油ガス設備士		→				
ガス溶接技能講習		→				
第二種電気工事士			→ 学科	→ 技能		
アーク溶接特別教育			→			
管工事施工管理技士				→		
消防設備士（甲種1類）						→
建築配管技能検定・技能照査	→ 3級実技 → 3級学科			→ 2級実技 → 2級学科 → 技能照査		